

建

築

の

可

能

性

近現代の建築についての講義と、実際の建築の見学によって、建築鑑賞の方法を学ぶことを目的として開催してきた講座の最終回です。近現代の建築が抱える課題をふまえて、建築の今日的な可能性を問う、未来志向の充実したプログラムとなります。奮ってご参加ください。

日時：平成 29 年 3 月 18 日（土）10：30～16：30

午前 ・物質試行 No.42 《池田山の住宅》（鈴木了二／2001 年）

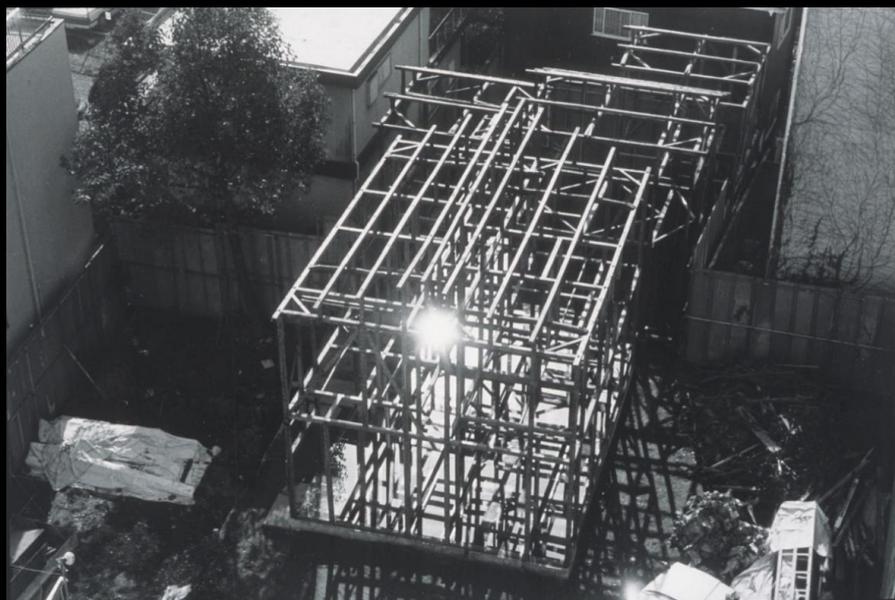
五反田駅近くの住宅街に位置する個人邸を講師の解説付きで見学します。

午後 ・物質試行 No.24 《絶対現場 1987》（鈴木了二・田窪恭治・安斎重男／1987 年）

レクチャー会場にて、1987 年に神宮前で遂行された伝説的なプロジェクト《絶対現場 1987》を講師の解説付きで鑑賞します（記録写真の上映）。

・レクチャー&ディスカッション

講師による講義・質疑応答を行います。



講師：鈴木 了二

建築家、鈴木了二建築計画事務所主宰。公共施設や商業ビル、個人宅などの建築作品のみならず、著述、美術家とのコラボレーション、映像制作など幅広い活動を通して、建築の在り方について発信している。



物質試行 No.24 《絶対現場 1987》 ▲

建築家・鈴木了二、美術家・田窪恭治、写真家・安斎重男を中心に行われた家屋解体作業（現存せず）。鈴木はこの作業に構築過程の逆回転、すなわち「逆構築」の意味合いを見出している。解体対象となった家屋は、開発による立ち退きで生活の跡をそのまま残した状態で存在したが、解体され軸組のみ残した状態に至ったとき 1 階の床面に強化ガラスが敷かれ、その上を歩くことができた。

[ 撮影：安斎重男 ]

◀ 物質試行 No.42 《池田山の住宅》

鈴木了二は、自身の仕事に「物質試行」という名前を与えている。「物質試行」は書物、映画、絵画、家具、写真とジャンルを問わない。鈴木は「物質試行」を「答えであるよりも問いである。」という。「物質試行 No.24」と「物質試行 No.42」に込められた「問い」とは何か。

[ 撮影：鈴木了二 ]

参加費 2,500 円 ※移動の交通費、昼食等は各自負担（移動・昼食休憩は自由行動）。

定員 一般 20 名（応募多数の場合は抽選）

申し込み方法

往復はがき（一人一枚）に返信宛名を記入し、「平成 28 年度近現代建築探検ツアー（最終回）参加希望」と書き、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号（連絡先）を明記の上、当館建築ツアー担当まで。募集受付期間は平成 29 年 2 月 14 日（火）から 2 月 28 日（火）まで（必着）

申し込み・問い合わせ先

埼玉県立近代美術館：担当 梅津

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 9-30-1 TEL. 048-824-0110 FAX. 048-824-0118